



みなかみ町立藤原小学校 学校だより

# みなもと



第5号 令和5年6月13日 (火)

## 春の旅！ 1・2年生 生涯学習センター 3年生 ぐんま昆虫の森

6月8日(木)に、1～3年生の3名が、春の旅に行ってきました。

1・2年生は前橋市にある、群馬県生涯学習センター内の少年科学館に行ってきました。少年科学館では、プラネタリウム観覧や様々な展示物を通して科学のおもしろさを体験的に学習できます。また、休日のイベントとして、科学の知識を用いた「ものづくり」なども行っているようです。藤原小の2人も、夢中になって科学体験をしていました。



3年生が行ってきた、「ぐんま昆虫の森」は、群馬県桐生市新里町にある体験型教育施設です。日本の里山を再現した広大な敷地に、昆虫の生育環境が整備されています。森林や水辺、草原など、様々な環境があり、そこで暮らす昆虫を探し、手に取り、その生態をじっくり観察することができます。

今回は、昆虫専門員と一緒にフィールドを歩きながら、季節の昆虫や、植物などの観察を行いました。笑顔がはじける、楽しい体験になったようです。

## 花いっぱい为学校を目指して！

### 球根掘りを実施

6月7日(水)に球根掘りを行いました。学校花壇の除草と土ならし、マルチの設置やプランターの準備を行い、学校を花いっぱいにするための下準備が整いました。

作業の中で、スイセンの球根には毒があることや、ニラとスイセンの葉は似ているので気をつけなければならない事などが話題に上がりました。体験の中で、子どもたちが学ぶものが多いことに改めて気付いたところです。今回準備した場所に、21日に花が植えられます。当日を、楽しみに待ちたいと思います。



## うまく回れるかな？

全学年で逆上がりに挑戦中！

藤原小学校の体育主任によると、「今月は鉄棒強化月間」とのことです。校庭では、全学年の児童が鉄棒に取り組んでいます。大人になると鉄棒は難しくなるようで、本校の若手職員でも、子どもと一緒に鉄棒をした後には、「腕や鉄棒が当たるお腹が痛い。」と嘆いています。子どものうちが、鉄棒が上手になるチャンスなのかもしれませんが、大人の皆さんも、久々に鉄棒をやってみるのも面白いかもしれませんね。



## 学校菜園を守りたい！

藤原小応援団の皆さんと案山子を設置！



6月4日に学校の菜園が荒らされました。犯人は、どうやら猿のようです。マルチは破かれ、ジャガイモは種芋ごと掘り出され、枝豆は根っこごと引き抜かれ・・・。生き残ったのは、モンシロチョウの観察用に植えてあるキャベツだけでした。

「何とかしたい。でも、どうすれば？」と悩んでいたところ、6月12日に、藤原っ子クラブで学校を訪れていた、藤原小応援団の「雲越さん、前原さん、中島さん」と子どもたちにより、「案山子をつくる」というアイデアが出され、実行に移されました。

説明するまでもないことですが、「案山子（かかし）」とは、田畑を荒らす鳥獣などを追い払うために立てる、竹や藁で作った人形のことで、漢字の「案山子」は、中国の僧侶が用いた言葉で、「案山」は山の中でも平らなところを意味し、「子」は人や人形のことを表します。日本では、古くは髪の毛や魚の頭などを焼いて臭いで鳥獣を威嚇する「嗅がし（こがし）」というものがありましたが、これが清音化されて「かかし」となったそうです。

作成された案山子は身長もあり、何だか頼もしく見えます。「任せておくれっ！」と言っているように感じるのは気のせいでしょうか？

藤原小学校では、地域の皆さんに学校にお越しいただき、子どもたちの成長の様子をご覧になってもらいたいと思っています。学校にお越しの際は、子どもたちの様子と一緒に、ぜひ、案山子達が活躍してる様子もご覧ください。

